



PTAのよさを知ってほしい 二人の会長に聞きました



高梨 由起さん（山形市立明治小PTA会長）
寺西 裕美さん（山形市立薄山小PTA会長）
子どもが学校に入れば必ず関わるPTA。全国の小・中学校PTA会長に占める女性の割合は12.8%（平成28年度）と、女性の参画が進んでいない状況です。今年度、山形市内の小学校に誕生した女性PTA会長のお二人に、お話を伺いました。

お二人はどのような経緯でPTA会長になったのですか？

高梨 私の場合、息子が少し手のかかる子でしたので、日頃からお世話になっている先生方の何かお役に立てないかと、学年委員長、広報部長を引き受けました。そしてそのまま事務局入りし、会長になりました。

寺西 私は、上の娘の時にクラス役員に選ばれたのが最初のきっかけで、PTA広報部に長年所属していたところ、事務局入りを勧められました。そして、下の娘が六学年の今年度、会長になりました。



女性は前例にとらわれず、 変革しやすい。

会長はどのくらい学校に行くのですか？
そしてどんな仕事をしているのですか？

寺西 PTA委員会などで、毎月一回以上は学校に行っています。平日の夕方です。それ以外にも、地域の団体から会合の案内が届き、年間五回くらいは出席します。酒席の案内をいただくことも多いです。

高梨 PTA委員会は年間四回ですが、私も一月一回以上は行きます。地域の団体の会合も一月月に一回はあります。酒席は遠慮させていただくこともありますね。

女性というだけでやりにくく感じることはありませんか？

寺西 まったくありませんね。

PTA活動も時代とともに変化が必要な部分もあります。そういう時は、逆に女性の方が前



学校や地域との
架け橋になりたい。

寺西 裕美さん



いろいろな親と
仲良くなり世界広がる。

PTAは学校と保護者を
つなぐ役割。

高梨 由起さん

員の皆さんで手分けして、個別に電話をかけて依頼しています。「やらずに済むならやりたくない」「誰かがやってくれる」、そういう気持ちが大きいのだと思います。地域の子ども会でも同じように、参加しない、役員になりたくないという話を聞きますね。

高梨 学年にもよります。また「長」のつく役員が決まりにくいのも仕方ないことです。入少とか他の習い事であれば、送り迎えや当番などが大変そうでも、楽しいって言う親御さんも多い。それと同じくらいPTA活動も楽しいことを知ってもらいたいです。

いろいろな親とも仲良くなれるし、世界も広がります。「PTAが嫌だ」と言う人の中には、実際のPTAを知らない人が多いのではないのでしょうか。PTAの良さをぜひ知って欲しいな。

他に気になることなどはありますか？
寺西 なんとかしたいものの筆頭に、PTA総会の出席率の低さがあります。うちの学校は児童数が多いのですが、総会の出席率は10%ほどで、他の学校と比較してもかなり少ない方だと思います。

高梨 うちの学校はすごいですよ。総会の出席率は90%を超えていると思います。児童数が少ないので、欠席すると目立ってしまっことが理由でしょうか。

例にとらわれず、変革しやすいと思います。

高梨 同感です。それと同時に「女性会長になってから変わった」と言われることのないように、「チーム明治（参加型PTA）」の良さのまま次期会長へつなぐ気持ちです。「チーム明治」の参加型PTAというのは、明治小の合言葉です。例年、PTAのソフトボール大会に会長も参加しているというので、私も参加しました。うまくはできませんでしたが、とても楽しかったです。打てないのが悔しくて、バッテリーセンターに通ったくらいです。

お子さんからの評判はどうですか？

高梨 お母さんがPTA会長になるのは嫌じゃないかな？と思って息子に聞いたところ、「全然気にならない」と言われたので、ほっとしました。

会長あいさつは、事前に息子に聞いてもらい、その反応を見て、児童たちに理解しやすいように内容を変えたりしています。

寺西 忙しくて、いつも家にはいないと思われているかもしれませんが、自立心を育てるという意味では悪くないかなと思つし、親が頑張っている姿を見てもううのはいいと思います。

PTA会長のあいさつはどうだった？と聞いたら、「別に……ですって。」(笑)

PTAの役員決め。

毎年大変だと聞きますが、実際どうですか？

寺西 大変です。クラス役員を決める日は、役

ういうことを保護者に伝えたいです。

寺西 学校の先生、地域の方が大勢関わって、私たちの子どもを育ててくださっているということに改めて感じます。この恵まれた環境に感謝し、互いに手を取り合い、学校に協力できるPTAでありたい。PTA会長はその架け橋になりたいと思います。

【取材を終えて】

お二人のインタビューを終えて一番印象的だったのは、二人とも明るく、楽しく、何事にも前向きだということです。お話も面白く、さまざまなエピソードで盛り上がり、予定の時間をオーバーしてしまいました。

忙しい学校の先生や保護者のために、PTA活動も以前よりは負担が少なくなるように変わってきているようです。

お子さんのいる方、この春、ぜひ率先してPTAの役員になってみませんか？すてきなPTA会長さんと会えるかもしれません。

（編集協力員 杉山 宏行）

